

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス てとて		令和8年 3月 30日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・ある程度適切な距離をとって活動ができています。 ・とても広いと思います。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・目を離せない子どもの数や全体の人数を配慮して職員が配置されている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・その日の利用者、スタッフの顔写真を部屋に貼り、見える化している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・活動に合わせて、テーブルや床のマット等過ごす場を決められる。 ・ワンフロアで死角も少なく、見渡せるようになっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・支援室以外で子どもが使用できる部屋がない。 ・個別の部屋はないが、パーテーション等で区切りスペースを確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	・ミーティングにて振り返りを行い、スタッフ間で共有している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・保護者向けの評価表から保護者の意向を真摯に受け止め、業務に活かしている。 ・毎年、保護者向け評価表を保護者に配布し、業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・業務についてフィードバックを行い、スタッフ同士で留意点を確認している。 ・毎日のミーティング、またフィードバックの時間を設けている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	・第三者による外部評価を行っていない ・行っていないため。 ・外部評価を行っていない。	・今後は、第三者による外部評価も検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・研修に積極的に参加している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・個別支援計画、支援手順書が作成され、スタッフ間で共有している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・適宜アセスメントを行い、子ども・保護者のニーズを把握し計画に入れ込んでいる。 ・放課後等デイサービス計画（名称が個別支援計画）を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・子どもの将来の見通しを持ち、子どもの最善の利益が保障されるよう権利擁護を意識した検討を行っている。 ・個別支援計画の作成、モニタリングの際に毎回、職員でカンファレンスを行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・職員間で計画を共有し、それに基づいた支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	・基準に基づいたアセスメント、日々の活動での観察の両方が取り入れられ、適応行動の状況を確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・計画の中で本人及び置かれている環境にも目を向け、多面的なアセスメントから具体的な支援内容が設定されている。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・管理者だけでなく他の子どもの支援に関わる職員たちで考えている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・季節を感じられる活動や調理、外出など毎週異なる活動を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・子どもの能力を伸ばす個別活動と他児との協力の機会を増やす集団活動を偏らないように組み合わせている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	子どもの状況からその日の支援の留意点を共有し、チーム支援を行っている。 ・朝礼を行い、その日の支援内容、流れ等確認を行い、共通認識を図っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・支援終了後にフィードバックを行い、気づいた点を共有している。 ・フィードバックの時間を設け、振り返りや情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・計画や手順書に照らし合わせて記録を取ることで、支援や計画の改善を行っている。 ・日報の記録で確認している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・モニタリングにて子どもの行動観察を踏まえて計画の見直しを行っている。 ・6カ月に1回以上、また子どもの成長に応じて見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	子どもの主体性を重視しながら、多様な活動を提供している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・何をしたいか、誰としたいかを自己選択できるように働きかけている。 ・例えば、おやつについて食べる・食べないを子どもの意見を尊重している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・子どもの状況と支援を理解した職員が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・障害以外の領域の多職種、他機関との連携も行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	・特に送迎時の情報共有を綿密に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	7		・今後は、就学前に利用していた保育所等の情報を踏まえてより良い支援につなげていきたいと思っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	・卒業時の次の事業所への情報提供を丁寧に行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0	・児童発達支援センターとの連携を行い、適宜助言を受けている。 ・外部研修等は受けている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	・児童館等で交流する機会がない。 ・交流する機会がない。 ・現在行っていない。 ・児童館や地域の子どもと交流する機会がない	・以前は児童館へ行っていたが、コロナ禍で自粛しています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・送迎時に子どもの状況を保護者と共有し、明確な目標を持って課題に取り組む。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	・適宜情報提供を行っている。 ・市役所からのチラシを配布し、周知している。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・利用する上で必要な情報を提供し、説明を行っている。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・子どもや家族の意志を踏まえ、意向に沿った支援を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	・計画と実際の支援に違いがないよう、支援内容の説明を丁寧に行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・常日頃から保護者の悩みに耳を傾け、適切に対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機を設ける等の支援をしているか。	0	7	・保護者会は設けていない。 ・保護者会をしていない。 ・コロナ禍以降開催していない。 ・父母会を開催していない。	・今後検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・子どもや保護者からの信頼を損ねないように、適切な対応を心がけている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・通信、HP、SNSを活用し、活動を発信している。 ・毎月のおたよりの発行、HPでのブログ、インスタグラムを活用し、子どもの様子や情報を発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・厳重に取り扱っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・重要な内容は、紙と口頭どちらでも伝える等、情報伝達での工夫を行っている。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	・地域住民との交流の機会がない。 ・現在行っていない。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・各マニュアルを作成し、共有し、定期的に訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・災害を想定した避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	・連絡帳からその日の子どものコンディションを確認し、活動を工夫している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・適切な対応を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・安全計画に沿って支援を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	・家族とも安全確保に関する情報を共有している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・ヒヤリハット報告書を作成し、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・積極的に研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	・身体拘束時の条件・状態を組織、保護者間で共有している。	